

子育て世代・働くひとの視点で北本を変える！  
**安心をすべての人に届けたい**

きたもと  
**well-being** 通信



北本市議会議員  
 さくらい すぐる  
**桜井 卓**



公式ホームページ  
<http://sakuraisuguru.jp/>



第19号

## 市長公約や人口減少対策の進捗状況 など 任期の前半2年を振り返る

現市長と市議会議員20人は、平成31年4月の選挙で選ばれ、令和元年5月1日から任期が始まりました。今回は任期前半2年を振り返ります。

### 「すぐに取り組めます10のお約束」 三宮市長が掲げた公約の進捗状況は？

三宮市長の公約とも言える「10のお約束」と、その進捗・達成の状況は次のとおりです。(1)と(3)については、進捗が見込めませんが、それ以外は一応達成又は着手をしています(評価は私の独断です)。

- (1) 消滅可能性都市一掃のための女性・子ども・若者1億円プロジェクト **未着手**
- (2) 南部新駅、圏央道・上尾道路沿線開発のあらゆる調査を実施 **達成(?)**  
 令和元年度に「南部地域周辺まちづくり基本構想(案)」が策定されましたが、これをどう具体化するのかは示されていません。
- (3) 子どもの命・学びの権利を守る「教育改革市民会議」(仮称)の設置 **未着手**
- (4) 「子どもの本のまちづくり」の推進 **順調**  
 読書通帳を導入。新型コロナ対応で図書と図書カードを配布。また、学校図書館指導員の勤務日数を増(週2.5日→週3日)。
- (5) 高齢者(特に一人暮らしの方)・障がいのある方の元気のける居場所づくり(全市50箇所)  
 高齢者の居場所については、地域住民の皆さまや北本市社会福祉協議会が中心となり、サロンや通いの場を増やしています。 **順調**
- (6) デマンドバスの利用エリアの拡大(隣接市町の医療機関) **達成**  
 埼玉県中央病院(桶川市)、埼玉脳神経外科病院(鴻巣市)への運行を開始しました。

- (7) 駅東口広場の利便性向上のため歩道部分の屋根かけ **順調**  
 令和3年度に設計のための予算を計上。
- (8) 市街地の中の緑の保全(宮内緑地 等) 宮内緑地の公有化を実施。 **達成**
- (9) 芸術文化と雑木林・里山をコラボした史跡回遊路の整備 **順調**  
 森林セラピーロードを整備、ツアーを実施。
- (10) 北本の暮らしの原点、「デーノタメ遺跡」の国史跡化 **検討中** (裏面をご覧ください。)

### 北本市の人口減少対策 シティプロモーションの成果 **&green**

北本市では人口減少対策として、第五次総合振興計画にリーディングプロジェクトを盛り込み、平成31年3月にシティプロモーション推進方針を策定。20歳代から40歳代前半をターゲットに定め、市民が中心となり取組を進めてきました。

この1年間の取組により、市民が①北本市を知人友人に推奨する気持ち、②北本市をよりよくするために参加・行動しようとする気持ち、③北本市をよりよくするために活動している人に感謝する気持ちの3つを指標化した「mGAP(エムギャップ)」の数値が大幅に向上しました。

また、人口動態を見ても、令和元年度から転入者が転出者を上回る「**社会増**」に転じています。

本市のシティプロモーションの取組は先進的かつ理論的で他市町村からも注目されています。

#### ◆北本市の年度別社会増減の推移 (単位 人)

区分	H29	H30	R1	R2
転入者数	2,173	2,300	2,381	2,382
転出者数	2,443	2,386	2,369	2,211
社会増減	△270	△86	+12	+171

## 新ごみ処理施設整備、白紙解消のその後

鴻巣・行田・北本の3市による新ごみ処理施設整備は、令和元年12月に白紙解消となりました。

議会では令和2年12月に、白紙解消の検証、広域処理に限らないあらゆる方策を比較検討するための調査の実施、議会や市民への丁寧な説明などを求めて決議しましたが、いずれも不十分なままに、市長は鴻巣市、吉見町と鴻巣市安養寺地区に新施設を整備する方針を打ち出しています。

## 久保特定土地区画整理事業と デノタメ遺跡の国史跡化

久保特定土地区画整理事業は、計画では令和7年度に完了予定ですが、令和2年度末現在の総事業費進捗率は44.2%。計画期間内の事業完了は絶望的で、今のペースでは事業完了まであと約30年もかかってしまいます。

三宮市長は、土地区画整理地内で発見されたデノタメ遺跡の区域を土地区画整理事業から除外し、遺跡を国史跡化して活用したいようです。

間もなく示される予定の区画整理事業の見直し案と遺跡の国史跡化の方針に、注目しています。

## 学童保育室の「過密」解消策 近隣市から大きく遅れた北本市

北本市の多くの学童保育室は、利用児童数の増加により過密状態となっています。

下表のとおり、桶川市や鴻巣市では利用児童数の増加に伴い学童保育室を増やしていますが、

◆支援の単位数とそのうち基準を満たす学童保育室の数

市名	平成28年度		令和2年度		増加率	
	人数	面積	人数	面積	人数	面積
北本市	12		13		8%	
	3	6	3	4	0%	-33%
桶川市	12		18		50%	
	6	9	9	14	50%	56%
鴻巣市	26		41		58%	
	6	17	33	40	450%	135%

人数基準：1学童40人以内、面積基準：児童1人につき1.65㎡以上

北本市ではほとんど増えていません。条例で定めた1つの学童保育室における児童数や児童1人当たりの面積の基準を満たす学童はわずかです。

感染症や熱中症の予防など、児童の安全を確保するためにも、過密解消は喫緊の課題です。

学童保育室の環境改善を、これからも繰り返し求めてまいります。

## 子育て支援策が後退？ 少人数学級や0歳児おむつ無料化を廃止

北本市では小学校における少人数学級(1,2年生は30人、2,3年生は35人)を実施するため教員の市費採用を行ってきましたが、令和元年度末で廃止されました。

また、0歳児おむつ無料化事業は令和2年度末で廃止となり、子育て応援事業(令和3年度以降出生した子に1人3万円分の子ども商品券を交付)に組み替えられましたが、予算総額としては減額となりました(おむつ無料化は1人約5万円)。

子育て支援における市の独自策は、縮小に向かっていくように感じます。

## 北本市議会の取組 健康福祉常任委員会のテーマ活動

議会では、委員会の活性化として、テーマを決めて活動することとしています。私が委員長を務める健康福祉常任委員会では、「いわゆるごみ屋敷の現状と対策」について調査・研究を行うことに決定しました。

いわゆるごみ屋敷は、近隣住民にとっては生活環境の問題ですが、住人がモノをため込んでしまう原因は「認知症」や「精神疾患」であることが多く、医療・福祉の問題でもあります。解決には、早期に介入し、適切な支援を行うことが重要です。

委員会として、まずは現状の把握から始め、執行部や関係機関とともに、有効な解決策を考えてまいります。

## 新型コロナウイルスやワクチンの情報は Twitter や LINE (公式) で発信しています!

新型コロナ関連の情報は、できるだけ早くお伝えする必要があるため、主にツイッターやLINEで発信をしています。ぜひ、フォロー、友だち追加をお願いします。



LINE  
公式アカウント



発行者 北本市議会議員 桜井 卓  
住所 〒364-0034 北本市高尾1-166-6  
電話 090-9389-3572  
メール sakuraisuguru.kitamoto@gmail.com  
Twitter @sakuraikitamoto

元埼玉県職員。49歳。令和元年5月1日から北本市議会議員(1期目)。現在は、健康福祉常任委員会(委員長)、子どもの権利に関する特別委員会(副委員長)、議会広報聴取委員会、埼玉中部環境保全組合議員。